



2026年

# 加温ハウス サクランボ防除暦

JA中野市園芸課

散布日	散布時期	散布薬剤（水 100ℓ当り）		収穫前 使用時期	使用回数 （以内）	散布量 （ℓ/10a）	対象病害虫 （発生病害虫）	注 意 事 項
月 日	【特別散布】 発芽前	（水98ℓ） スプレーオイル	2ℓ	発芽前	—	300	カイガラムシ類	① 【カイガラムシ類幼虫対策】 アブロードフロアブルの 1,000 倍 （7日前、2回）を加用する。
月 日	【特別散布】 開花前	<b>樹幹散布</b> フェニックスフロアブル	200mℓ	開花期まで	1回	5～200	コスカシバ	① 樹幹部及び主枝に十分散布する。
月 日	開花直前	①展着剤（ハイテンパワー） オンリーワンフロアブル サムコルフロアブル 10	10mℓ 50mℓ 40mℓ	前日 前日	3回 3回	350	灰星病（花腐れ） ハマキムシ類 コスカシバ ケムシ類 オウトウショウジョウバエ	
特別散布：開花期間中に、灰星病（花腐れ等）の発生が心配される場合は、ベルクートフロアブルの 2,000 倍（7日前、3 回）を散布する。 ＊ベルクートフロアブルは 5℃以下では固化する場合があるので、注意する。								
月 日	落花直後  訪花昆虫 引き上げ後	② バイスロイド EW ナリア WDG	25mℓ 50g	7 日前 前日	2回 3回	400	灰星病 炭そ病 黒斑病 幼果菌核病 褐色せん孔病 （ショウジョウバエ類）	① この散布はミツバチへの影響が大きいため、ミツバチ引き上げ後に散布する。 ② ナリア WDG はぶどう（ピオーネ）洋なし（ル・レクチェ）等に薬害が生じるので飛散しないようにする。
特別散布： 【灰星病対策】ベルクートフロアブルの 2,000 倍（7日前、3 回）＊ベルクートフロアブルは黄化期の散布では薬害（着色障害）が生じるおそれがあるので、使用しない。 【ショウジョウバエ類対策】ディアナ WDG の 10,000 倍（前日、2 回）を散布する。								
月 日	肥大型 【果実黄化前】	③ オンリーワンフロアブル コテツフロアブル	50mℓ 50mℓ	前日 7 日前	3回 2回	500	灰星病 炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 ナミハダニ オウトウショウジョウバエ ウメシロカイガラムシ	
月 日	収穫終了後	④展着剤（ハイテンパワー） エコマイト顆粒水和剤 オキシラン水和剤 ダイアジノン水和剤34	10mℓ 50g 166g 100g	前日 収穫後～落葉期 14日前	1回 3回 2回	500	せん孔病 ハダニ類 ウメシロカイガラムシ アメリカヒロヒトリ ハマキムシ類	①【ドリフト注意】 エコマイト顆粒水和剤は、りんご・おうとう・なし・ぶどう以外登録がないので、他品目に飛散しないよう注意する。
月 日	6月中旬	⑤展着剤（ハイテンパワー） トレノックスフロアブル サムコルフロアブル 10	10mℓ 200mℓ 40mℓ	21日前 前日	5回 3回	500	褐色せん孔病 ハマキムシ類 コスカシバ ケムシ類	
月 日	7月上中旬 （前回から 14 日後）	⑥展着剤（ハイテンパワー） ダニオーテフロアブル トレノックスフロアブル	10mℓ 50mℓ 200mℓ	前日 21 日前	1回 5回	500	ハダニ類 褐色せん孔病	①ダニオーテフロアブルを散布する際は、銅剤（オキシラン水和剤等）散布後 45 日以降とする。
月 日	7月下旬 （前回から 14 日後）	⑦展着剤（ハイテンパワー） トレノックスフロアブル ダイアジノン水和剤34	10mℓ 200mℓ 100g	21日前 14 日前	5回 2回	500	褐色せん孔病 ウメシロカイガラムシ アメリカシロヒトリ ハマキムシ類	
月 日	8月上中旬 （前回から 14 日後）	⑧展着剤（ハイテンパワー） オキシラン水和剤	10mℓ 166g	収穫後～落葉期	3回	500	せん孔病	①【ハダニ類対策】 コロマイト乳剤の 1,000 倍（7日前、1 回）を加用する。 ②【せん孔病対策】 9 月上中旬にオキシラン水和剤の 600 倍（収穫後～落葉期、3 回）を特別散布する。

当防除暦の複製・コピーを禁止します

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（D F）⇒顆粒水和剤（WD G）⇒水和剤